

SDGsを目指す農林水産業の未来のために

近畿大学アグリ技術革新研究所

第3回オープンセミナー

2018年12月19日（水）

16：00～17：30

近畿大学農学部 207教室

入場無料
申込不要

草食昆虫と植物の攻防戦

講師 | 吉岡 博文

名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授

植物は自然界において、糸状菌、細菌、昆虫、ウイルスといった多くの生物的なストレスにさらされている。その中でも、虫害は作物生産に大きな損害を与えており、その摂食様式から師管液を摂取する吸汁昆虫と植物組織を食べる咀嚼昆虫に分類される。近年、植物と害虫の相互作用についての研究が進み、植物免疫応答が吸汁昆虫であるウンカ・ヨコバイを排除することが明らかとなってきた。一方、植物は咀嚼昆虫の傷害によって放出される植物由来のDAMPs (Damage-associated molecular patterns)、あるいは咀嚼昆虫の唾液由来のHAMPs (Herbivore-associated molecular patterns) を認識し、防御応答を誘導することが見出されている。本セミナーでは、草食昆虫と植物の攻防戦について最近の知見を紹介する。

世話人 | 川崎 努 (近畿大学アグリ技術革新研究所 教授)
お問い合わせ | t-kawasaki@nara.kindai.ac.jp